

## 監査役

### 監査役の職責

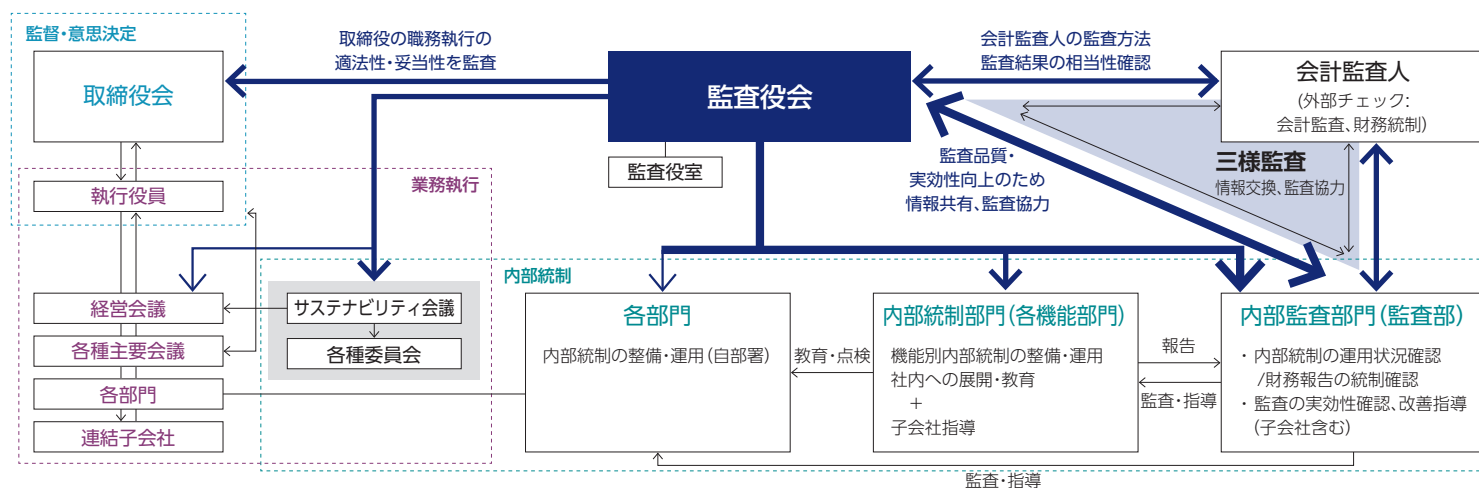
株主の負託を受けた独立の機関として、取締役の職務執行を監査することにより、会社の健全で持続的な成長の確保と社会的な信頼に応える良質な企業統治体制の確立をめざします。また、取締役等に対し、助言または勧告等の意見を表明するなどの必要な措置を適時に講じ、独立の立場の保持に努め、常に公正不偏の態度を保持し、自らの信念に基づき、現地現物主義による監査を行います。

### 監査役、監査役会の活動

監査役会は、常勤監査役2名、独立社外監査役2名の4名で構成され、原則として毎月1回開催しています。各監査役は監査役会で策定された監査方針および監査計画に基づき、取締役会をはじめとする主要な会議への出席や、取締役・部門からの聴取、国内外子会社への往査などを通じて、取締役の職務執行や当社および子会社の業務執行の適法性・妥当性や財務報告の信頼性について監査を行っています。また、監査役の直轄下に監査役室を設け、監査役の職務を補助する専任スタッフを配置しております。

内部統制の運用状況については、内部統制部門(各機能部門)および各カンパニーの統括部門を中心に、あらかじめ策定した管理指標をもとに監査を行っております。内部監査部門(監査部)とは毎月定例の意見交換を通して情報共有を行い、必要に応じて監査の相互補完を行いながら、より監査品質・実効性向上を高められるよう努めております。同様に、会計監査人とも定期的に情報交換を行うとともに、会計監査人の監査方法および監査結果の相当性確認を行っております。

監査役監査の体系図

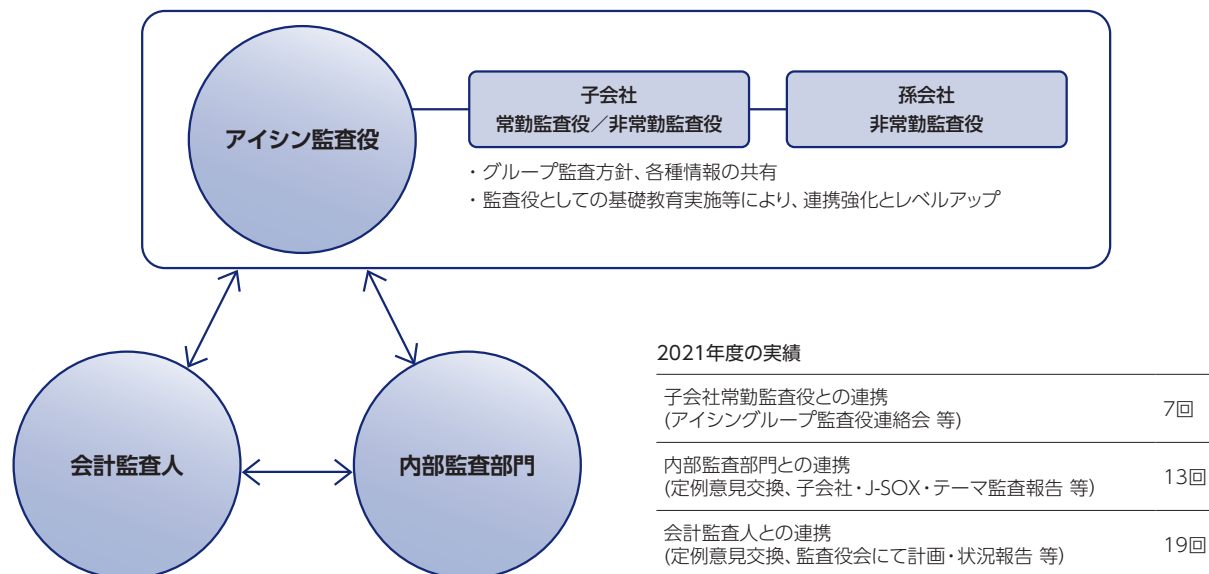


会社法/金融商品取引法 (J-SOX)  
コーポレートガバナンス・コード

法律に基づく内部統制の確実な実施によるリスク管理  
企業の意思決定の迅速性・透明性を高め、中長期的な企業価値向上を促す行動規範

## 監査役

## アイシングループの監査の連携状況



アイシングループは、国内75社、海外128社という非常に多くの企業で構成されています。グループ全体において、抜け漏れのない網羅性を担保した監査体制を構築するため、会社規模の大きな子会社へは常勤監査役を設置、規模の小さな子会社に対してはその親会社の役員・従業員を非常勤監査役として設置し、連携を図っています。

加えて、内部監査部門・会計監査人・アイシングループ監査役の3者が以下のように連携を行っています。

- ・ 監査計画の認識合わせ (役割分担の明確化、監査の効率性・補完性を検討)
- ・ 監査実施、情報共有 (監査結果、リスク情報 等)
- ・ 改善状況の確認
- ・ 次年度監査方針および計画への反映

## COLUMN

社外監査役

上田 純子



「某銀行で閑散役<sup>かんきやく</sup>をしています」。16年ほど前、首都圏の大学で社会人学生相手に教鞭をとった際、大手銀行の常勤監査役をしていた一学生が自虐的な自己紹介をしました。大会社への監査役会設置の義務づけが始まってから既に10年以上経っていましたが、当時の常勤監査役の士気は今一つのようでした。翻って、アイシンの監査役会は、毎回自由闊達な議論の場となっています。常勤監査役はいつもフル回転で、社内各部門との連携、グループ各社の監査役との連携、会計監査人との連携のもと、日々緻密な監査計画が実行されています。監査はまさにチームプレイ。チームの一員として攻守のタイミングを見極めた愚直な監査に邁進する所存です。